

三者協働でこれからの授業を 設計してみよう ～コロナ禍での経験を踏まえて～

F班 氏名 井上 優
塩路 貴之
谷 文翔
金井 映



アフターコロナ 学びの在り方を考える ～学習者から教育者に～



(1) 授業種別	演習
(2) 授業概要	<p>本講義では、コロナ禍で学んだこと、経験したことを活かして、「学び」の在り方について考えていく。アフターコロナの今日、2021年度春学期授業・学生生活に関するアンケートについて、「学び」の問題が浮き彫りになっているので、このアンケートを基に、改善できる問題を探求する。最終的にはどのような教育が必要とされるかを検討し、5年後、10年後の教育の未来の授業を創造する。</p> <p>普段学生が、大学授業を見直すことはあまりないが、この講義では、各学生が更に質の良い、面白い「学び」を見つけるために思考力、提案力、実践力を培う。</p>



<p>(3) 学位授与方針との関係 (プログラムポリシー)</p>	<p>① (知識・技能) 学士課程教育の基盤となる幅広い学問的および社会的知識と技能を身に付けることができる。</p> <p>② (思考力・判断力・表現力等の能力) 学部横断型教育プログラムの特徴を活かし、違う視点を持った学生同士が協働的に学ぶことで、「考動力 (自律力、人間力、社会力、国際力、革新力)」を身に付けることができる。</p> <p>③ (主体的な態度) 自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組むことができる。</p>
<p>(4) 到達目標</p>	<p>① (知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍で導入された学習ツールについて知識を深める。・ それぞれのツールの特徴を理解し、使い分けを身に付ける。・ 新型コロナウイルスの世界的な流行により変化した物事について知識を身に付ける。 <p>② (思考力・判断力・表現力の能力)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 授業・生活に関するアンケートの結果を分析し、改善点・評価できる点を自分の言葉で表現できる。・ 新型コロナウイルスの世界的な流行により変化した物事を客観的に分析する。 <p>③ (主体的な態度)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 個人の思考を整理し、グループ内で積極的に共有する。・ 発表を聞いて、適切な質問をする。(指摘等)
<p>(5) 授業手法</p>	<p>① 教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック</p> <p>② 学生による学習のふりかえり(節目の授業)</p> <p>③ 学生同士の意見交換 (グループ・ペアワーク、ディスカッション、ディベート等含む)</p> <p>④ プレゼンテーション (スピーチ、模擬授業等含む)</p> <p>⑤ 課題探究 (プロジェクト学習、課題解決型学習、ケーススタディ等含む)</p>

<p>(6) 授業計画</p>	<ol style="list-style-type: none">①オリエンテーション②コロナ禍について (講義)③今後の授業方針について(グループと評価方法)④授業アンケートの分析と現状の把握⑤課題 アフターコロナでの「理想の授業」とは グループワーク⑥上記についてグループワーク (アンケート結果を基に意見交換)⑦上記についてグループワーク(大まかな方向性を決める)⑧上記についてグループワーク(詳細について)⑨中間報告(padletでのフィードバック有り)⑩グループワーク(改善点修正)⑪グループワーク(グループ同士で発表を行い、お互いにフィードバックを行う)⑫グループワーク(他グループから得たフィードバックをもとに改善を図る)⑬グループワーク(発表最終準備・リハーサル)⑭発表・評価⑮発表・評価 まとめ
<p>(7) 授業時間外学習</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 資料・情報の収集。・ 問題点を考え、ディスカッションの準備。・ 教員が用意したオンライン講義の視聴。



3 成績評価の方法・基準・評価

<p>(8) 方法</p>	<p>定期試験を行わず、平常試験（小テスト・レポート等）で総合評価する。 個人レポートを小テストとみなし、評価する。 グループワーク発表およびグループワーク発表相互評価内容を評価する。</p>
<p>(9) 基準・評価</p>	<p>①（知識・技能）</p> <ul style="list-style-type: none">・レポートの作成 概要等まとめ・根拠に基づいた主張 <p>個人レポート 50%</p> <p>②（思考力・判断力・表現力の能力）</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニケーション力・質問に対して適切な思考力および発言力・グループワークの発表完成度 <p>グループ発表 25%</p> <p>③（主体的な態度）</p> <ul style="list-style-type: none">・積極性・協調性・コミュニケーション力・質問に対して適切な思考力および発言力 <p>グループ発表の相互評価 25%</p>
<p>(10) フィードバックの方法</p>	<p>個人レポートにLMS等の機能を用い、内容に関してコメント。 グループ発表の中間報告後、padletで改善点コメントを共有。</p>

(11) 教材等

- ・教科書はなし。参考書等は授業時に提示・配布。
- ・2021年度春学期 授業・学生生活に関するアンケート

(12)



時配	学習内容と活動	授業中の留意点・評価
導入 第4回	<p>「2021年度春学期授業・学生生活に関するアンケート」のデータを基に、現状について理解する。実例等を参考に。コロナ禍を経て、学びのあり方を考える。</p>	<p>情報収集力 理解度 データを基に、問題点に対する思考力</p> <p>分析・まとめに行き詰っている学生のフォロー</p>
展開	<p>コロナウイルス感染症の蔓延以前と収束後での変化を把握する。現状を含め、これからの大学という教育の在り方について個人で思考する。ミニッツペーパーに記入する。</p> <p>記入したミニッツペーパーを参照しながらグループ内で情報の共有・意見交換を行う。</p> <p>グループワークを踏まえてミニッツペーパーの加筆・修正</p>	<p>分析・まとめに行き詰っている学生のフォロー</p> <p>理解度 グループワークでの発信力、聴く力 グループワークで行き詰っているグループがあれば、適宜アドバイスを行う。（あらかじめ個人でのワークの時間を十分取っておき、全員がグループワークに参加しやすい状態にしておく。）</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 各チーム発表(チームで出た意見) 現状をインプットした上で、グループワークを行う(改善及び修正) <p>個人の考え・感想をレポートとして提出(展開で作成したミニッツを加筆・修正)本時のミニッツペーパーは授業最後に解答時間を設ける。各自、考えをまとめて解答し、LMSにて提出。</p>	<p>授業の意欲度 個人の考え グループワークでの積極性</p>